

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が42例(男性21例(20歳代12例, 30歳代5例, 40歳代1例, 50歳代2例, 60歳代1例), 女性20例(10歳代4例, 20歳代10例, 30歳代2例, 40歳代2例, 50歳代1例, 70歳代1例), 未就学児1例(年齢性別非公開))あり, 累積報告数は326例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
 - 新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
 - 京都市衛生環境研究所にゅーす 令和2年度 第1号(通巻139号)(特集! 新型コロナウイルス感染症!)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf>
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)ありました。症状は腹痛等で, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は8例となりました。
 - 発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
 - 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ヘルパンギーナの報告は, 全国・京都市ともに少ないながらも, やや増加傾向です。例年夏にかけて報告が増え流行時期となります。発生動向に注意し, 手洗いやうがいので予防しましょう。
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は1.49(64例)で前週の1.60(69例)からわずかに減少しました。全国では2.17で, 第19週の0.73から9週連続で微増傾向です。京都市及び全国ともに, 現在は流行している状態ではありませんが, 高温多湿で食中毒が発生しやすい気候が続いています。手洗いやうがいの励行, 食品の十分な加熱, 調理器具の消毒など予防に努めましょう。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(患者数)は, 第28週までで326例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核なし, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 132例(肺結核 60例, その他結核 28例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 29例】
- 指定感染症:新型コロナウイルス感染症 42例【1月以降の累積報告数 326例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.49	64
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	46
	③ 突発性発しん	0.47	20
	④ 水痘	0.14	6
	④ ヘルパンギーナ	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

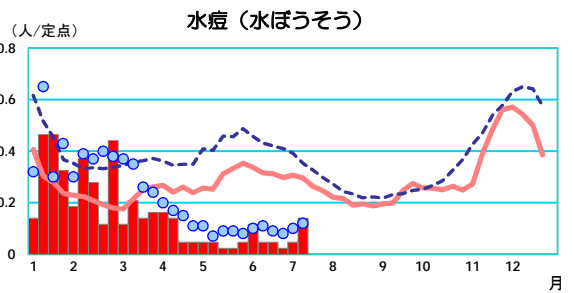
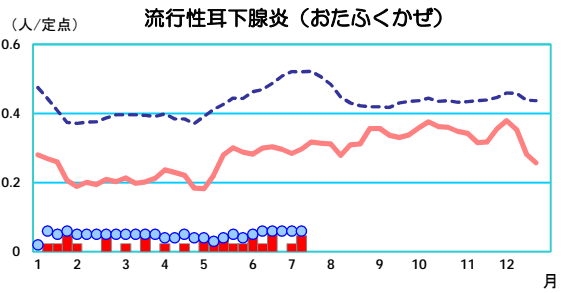
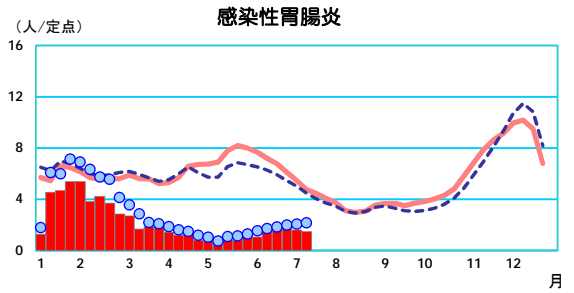
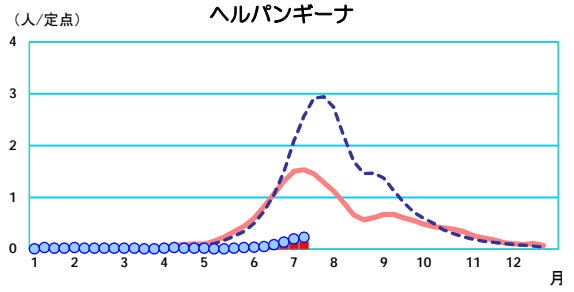
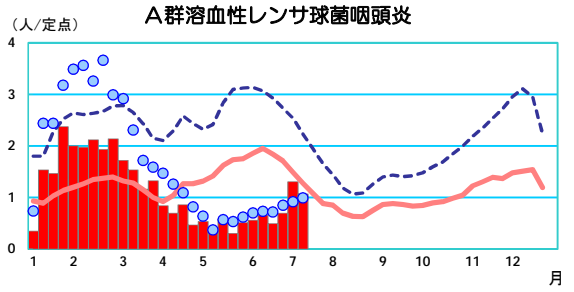
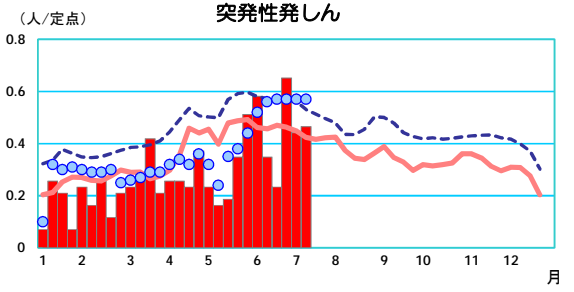
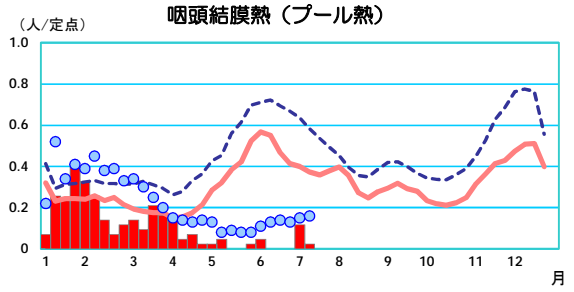
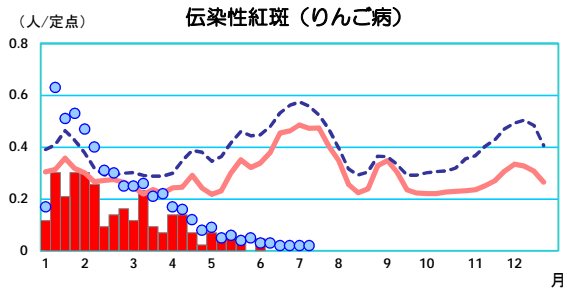
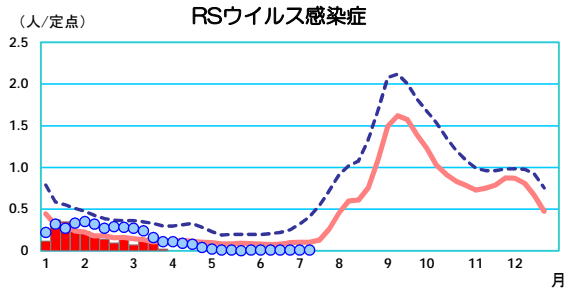
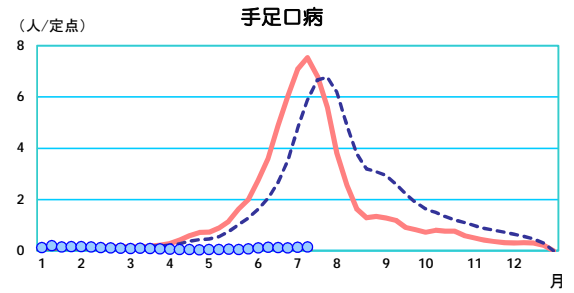
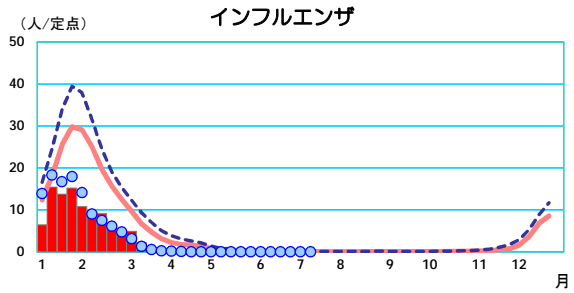
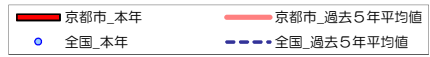
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 2020年7月15日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

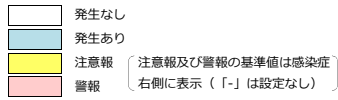
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

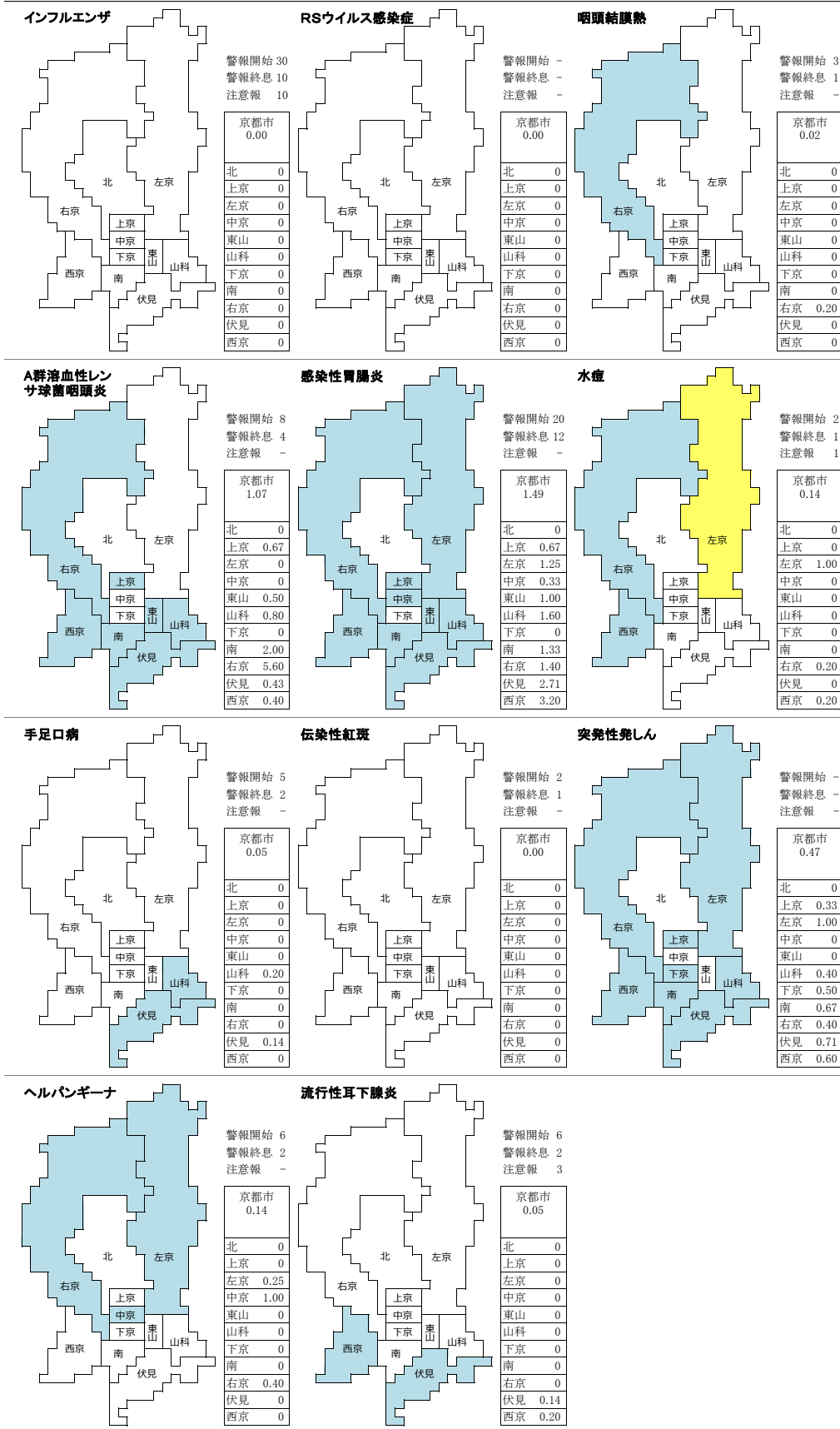
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第28週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



第28週(7月6日～7月12日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(患者数)は、第28週までで326例となりました。これまでの患者発生数の週平均を人口10万人当たりで見ると、京都市では3月上旬より発生が始まり、4月中旬をピークに5月中旬にはほぼ0まで収束しました(図1)。その後、1箇月程度は新規感染者数が1例以下の時期が続いていましたが、6月25日以降、連続して新規感染者が発生しています。発生時期を他都市及び全国平均と比較すると、概ね同様の推移です。他都市と比較するとピークは半分から5分の1程度ですが、全国平均よりはやや多い傾向があります。

今回、感染状況を可視化する指標の一つとして、実効再生産数を算出しました。疫学における再生産数とは、1人の感染者が感染している間に平均して何人に感染させるか(感染者を再生産するか)を表します。再生産数には基本再生産数(R0)と実効再生産数(Rt)があり、R0は免疫の全くない人間集団に初めてその感染症が侵入した場合の値、Rtは感染予防策の実施程度や、免疫を持つ人の割合などを考慮した値です。Rtが1を超える場合、感染は拡大し続けてゆくことになるため、Rtを1未満に抑えられていれば、感染拡大を抑えられていることのひとつの指標となります。

Rtをみると、これまで京都市は他都市と同様の推移でしたが、6月下旬からはクラスター発生によりほぼ全日1以上となり、かつ他都市よりも高くなっています(図2)。これは感染が拡大している状態にある可能性を示唆しており、今後も感染拡大のリスクが高まること予想されます。

上記のクラスター発生もあり、7月15日には京都府の警戒基準に到達したため、更なる感染拡大防止に取り組んでいるところです。特に、飲み会などの飲食機会等をきっかけにクラスターが発生していることから、いわゆる「3密」を避けるなど、これまでの「新しい生活様式」の実践を継続してゆくとともに、接触確認アプリ等(国の「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」、京都市の「京都府新型コロナあんしん追跡サービス」等。)を活用しましょう。

○警戒基準到達を踏まえた今後の対応について(京都府のホームページ)

https://www.pref.kyoto.jp/kentai/news/documents/keikaikijun_taiou_0715.pdf

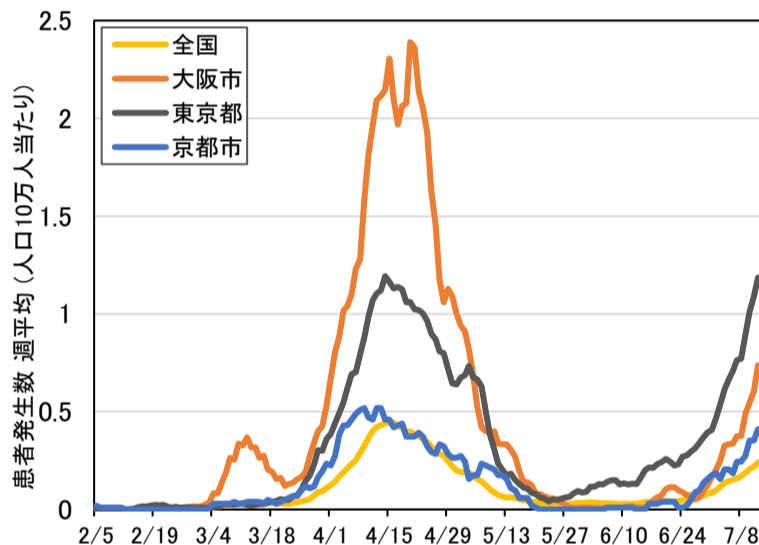


図1. 新型コロナウイルス感染症 患者発生数週平均(2020年28週まで)(*1)

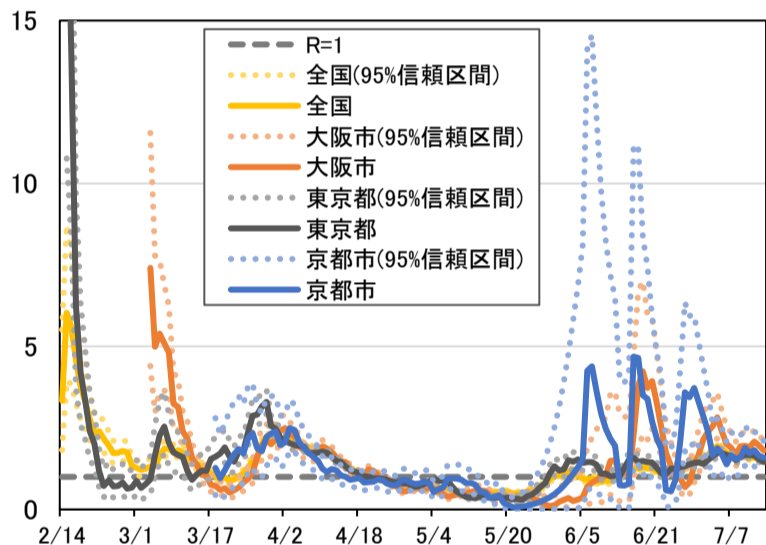


図2. 新型コロナウイルス感染症 実効再生産数(2020年28週まで)(*2)

京都市では下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。

●帰国者・接触者相談センター

●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口

1. 専用電話番号：075-222-3421 (電話番号は共通です)
2. 受付時間：土・日・祝日を含む24時間

○息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

○重症化しやすい*方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

<相談の目安> (※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

○上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

参考情報

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

(*1)京都市広報及び次の資料を基に作成した(以下、全て令和2年7月15日閲覧)。

○大阪府における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況(大阪府ホームページ)

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/corona.html>)

○東京都 新型コロナウイルス陽性患者発表詳細(東京都オープンデータカタログサイト)

(<https://catalog.data.metro.tokyo.lg.jp/dataset/t000010d00000000068>)

○新型コロナウイルス感染症について > オープンデータ(厚生労働省ホームページ)

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>)

(*2)Coriらの報告している方法により、(*1)の資料を基に算出した。

算出に当たってはBiらの報告より発症間隔の平均を6.3日、標準偏差を4.2と仮定した。

○Cori, et al. A New Framework and Software to Estimate Time-Varying Reproduction Numbers During Epidemics. *Am. J. Epidemiol.*, 178, 9, 1 Nov 2013, 1505-1512.

(<https://academic.oup.com/aje/article/178/9/1505/89262>)

○Bi, et al. Epidemiology and transmission of COVID-19 in 391 cases and 1286 of their close contacts in Shenzhen, China: a retrospective cohort study. *Lancet Infect. Dis.*, April 27,

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第28週

疾病,行政区別報告数

2020年7月6日～2020年7月12日

データ入手日:2020年7月15日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	5	4	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	8	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	6	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1	28	7	1	-	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	3	19	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	2	16	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	1	46	64	6	2	-	20	6	2	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.25	1.00	-	-	1.00	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.80	1.60	-	0.20	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2.00	1.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.20	5.60	1.40	0.20	-	-	0.40	0.40	-	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.43	2.71	-	0.14	-	0.71	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.40	3.20	0.20	-	-	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.02	1.07	1.49	0.14	0.05	-	0.47	0.14	0.05	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第28週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年7月6日～2020年7月12日

データ入手日:2020年7月15日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		46	-	-	4	2	7	6	4	5	3	2	-	7	1	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		64	1	5	6	7	7	6	2	6	5	2	4	8	2	3	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	1	-	-	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		20	-	4	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		6	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.07	-	-	0.09	0.05	0.16	0.14	0.09	0.12	0.07	0.05	-	0.16	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.49	0.02	0.12	0.14	0.16	0.16	0.14	0.05	0.14	0.12	0.05	0.09	0.19	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	0.02	-	-	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.47	-	0.09	0.35	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.14	-	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第28週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年7月15日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	-	-	-	5	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	28	21	30	56	46
感染性胃腸炎	45	65	74	94	69	64
水痘	5	2	2	1	2	6
手足口病	6	8	8	2	6	2
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	-
突発性発しん	25	15	10	28	19	20
ヘルパンギーナ	4	2	2	5	7	6
流行性耳下腺炎	2	1	3	-	1	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	2	1	5	-	3
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	115	123	121	165	165	150

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.05	-	-	-	0.12	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.65	0.49	0.70	1.30	1.07
感染性胃腸炎	1.05	1.51	1.72	2.19	1.60	1.49
水痘	0.12	0.05	0.05	0.02	0.05	0.14
手足口病	0.14	0.19	0.19	0.05	0.14	0.05
伝染性紅斑	0.05	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.58	0.35	0.23	0.65	0.44	0.47
ヘルパンギーナ	0.09	0.05	0.05	0.12	0.16	0.14
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	0.07	-	0.02	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.20	0.10	0.50	-	0.30
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.67	3.01	2.89	4.22	3.84	3.72

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。